

## 6 構造改革の取組

区は、基本構想で描く「10年後に目指すまちの姿」の実現に向けて、行財政の構造的な改革を集中的に進め、持続可能なサービス展開を図るため、令和3年8月に構造改革実行プログラムを策定し、5つの戦略と28の個別プログラムを設定し、取組を進めています。

また、予算編成過程において新規事業と既存事業の見直しを一体的に行うビルド・アンド・スクラップを行いながら、構造改革の視点を踏まえ、経費削減に取り組んでいます。

### ■ 構造改革実行プログラムに基づく取組の財政効果

構造改革実行プログラムに基づく取組は、中長期的な財政効果を見込んでいます。このうち、令和4年度の経費及び財政効果は下表のとおりです。

(単位：千円)

戦略	戦略名	番号	個別プログラム	事業費 (一般財源)	財政効果
I	デジタルシフトによる区民サービスの向上と効率的な行政運営	1	新区役所を契機とした来庁者への窓口サービス迅速化と事務効率化	126,288	133,879
		2	来庁しなくても受けられる行政手続の充実（オンライン化の推進）		
		3	行政手続効率化の下支えとなるマイナンバーカードの活用推進		
		4	区民ニーズを踏まえた政策立案に資する区実施調査の充実		
		5	多様な手段による効果的な区政情報の発信		
II	公助の体制強化と共助の促進	1	区民活動センター運営のあり方の検討	245,124	144
		2	地域でのアウトリーチ活動における関係機関との連携		
		3	社会福祉協議会との協働		
		4	高齢者会館のあり方の検討と民間施設での地域支援事業の実施		
		5	生活困窮者等自立支援のあり方の検討		
		6	地域スポーツクラブの考え方（運営形態等）の見直し		
III	施設のあり方検討と適正な配置・管理	1	区有施設の財産経営	242,758	73,781
		2	図書館のあり方の検討		
		3	区立保育園の適正配置		
		4	新たな機能を備えた児童館の配置・運営		
		5	区立中学校プール開放の検証と今後のあり方の検討		
		6	生活寮長期利用者支援等及び施設管理の整理		
		7	区有施設の脱炭素化の推進		
		8	移動教室及び軽井沢少年自然の家のあり方の検討		
		9	区立公園の施設配置・管理の検討		
IV	組織体制の最適化	1	人事権限の集約化、機動的な人員配置	8,884	10,282
		2	専門職の人材育成及び職員配置の検討		
		3	適正な職員構成（職層別構成比）のあり方の検討		
V	安定的な財政運営と財源創出	1	債権管理体制の強化	32,284	336,185
		2	使用料、事務手数料の適正化		
		3	不動産賃貸経費の最適化		
		4	予算科目の見直しによる事務の効率化、執行率の向上		
		5	決算分析を元にした予算編成手法の確立		
合計				655,338	554,271

※「財政効果」は予算編成時点において試算可能なものに限り、ます。

なお、財政効果については、以下のとおり試算しました。

財政効果の種類	財政効果の測定の考え方（例）	効果額
執行方法の見直しや事業の規模縮小により、経費削減が見込まれるもの	・業務のICT化の推進による紙文書等の削減 ・民間活力の導入による区負担の削減	70,160 千円
新たな補助金や歳入確保等により、歳入増加が見込まれるもの	・口座振替の促進や納付勧奨の工夫による収納率向上 ・未利用施設の活用（貸付など）による歳入確保 ・既存事業の法内化による特定財源の確保	321,400 千円
効率化等による労働時間の削減で見込まれる財政効果額（人件費相当額）	・業務のICT化の推進による労働時間の削減 ・Web会議による移動時間等の削減 ※人件費相当へ換算した場合の効果額	162,711 千円

### ■ 予算編成過程におけるビルド・アンド・スクラップの状況

構造改革実行プログラムでは、予算編成の中で新規事業と既存事業の見直しを一体的に行うビルド・アンド・スクラップを行うこととしています。令和4年度予算編成における、ビルド・アンド・スクラップの状況は下表のとおりです。

主な事業名	見直し等の内容	(単位：千円)	
		事業費 (一般財源)	令和4年度予 算での削減額
平和事業	既存事業の実施方法の見直し	156,492	68,106
(仮称)中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例の推進	人権啓発事業の実施方法の見直し		
観光事業の見直し	NAKANO FREE Wi-Fiの廃止等		
AI-OCR導入による住民税収納事務の効率化	会計年度任用職員の廃止等		
債権管理体制の強化（新たなメッセージ配信サービスによる納付勧奨）	SMS（ショートメッセージサービス）による既存の納付勧奨の見直し		
民間保育施設の新規開設支援	認可保育所整備等に係る補助制度の見直し		
高断熱窓・ドア助成事業	高断熱建築物認証制度の廃止		
中野区食品ロス削減推進計画の策定	ごみ組成分析調査の休止		
その他	一斉情報配信システムの新規導入（既存配信ツールのランニングコスト削減）等		

※ビルド・アンド・スクラップは、新規・拡充事業の要求に伴う既存事業の見直し（廃止、縮小、執行方法の変更等）や既存事業における執行方法の見直しや歳入確保等を指しており、これに伴い捻出された財源を「令和4年度予算での削減額」に計上しています。

※「主な事業名」には、「8 各部予算の概要・主な事業」の事業名を記載しています。